

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	風雪災害時における、消防車両の路外逸脱事例
3. 体験した事例の中心的要素	暴風雪により、走行不能となった車両より要救助者を救助し帰所途上、吹雪によりホワイトアウトの状態となり、路外逸脱し走行不能となる。
4. 体験した事例の原因・理由	・暴風雪の中での長時間の活動による疲労、及び集中力の欠如。 ・暴風雪による視界不良。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意思決定に問題があった。(大丈夫だろうと思った)
------------------	-----------------------------

【体験した事例について】

1.	発生日時	平成25年3月2日 午後17時頃
2.	発生した当時の天候	雪
3.	発生した活動現場	屋外：直線の国道上で両側とも畑。
4.	体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5.	事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重症の怪我をしていた（させていた）だろう
6.	どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	交通事故
7.	事例体験時の活動	風水害の災害
8.	（7の活動中）どのような作業中に発生したか	帰署途中
9.	同様の体験は、これまでにどの頻度で体験していますか	初めて体験した

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境や、隊員技量の把握に欠けた。)	はい

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

路外逸脱状況

